

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
24年 6月 22日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中区栄2丁目11-30	
氏 名 大成ロテック 株式会社 中部支社 支社長 今井 久男	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-231-6951	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大成ロテック株式会社 名古屋事業所
事業場の所在地	愛知県名古屋市港区九番町4-1-5
計画期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請工事完工高 119,508万円(平成23年度実績)
③従業員数	21人(平成24年6月12日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	① 道路舗装工事にて廃棄物(主にながれき類(アスファルト破片))が発生 ↓ ② 収集運搬業者へ運搬を委託 ↓ ③ 委託先処分業者にて再生材として利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <pre>graph TD; HQ[本社 安全環境品質部] --> SHK[安全衛生環境協力会(下請会社)]; HQ --> Branch[中部支社 支社長]; Branch --> CS[工事部 安全環境品質部]; Branch --> Nagoya[名古屋事業所]; CS --> Nagoya;</pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各品目毎に分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各品目毎に分別を徹底している。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスファルト破片)	がれき類(コンクリート破片)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2.0 t	3.0 t
	(これまでに実施した取組) 自社工場にて再生路盤材として100%再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) がれき類(アスファルト殻・コンクリート殻)が発生した場合は、再生アスファルト合材、再生路盤材として100%再利用を実施する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組) —			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組) —			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙のとおり			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第 2 面 別 紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
① 現 状	【前年度(平成23年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	汚 泥	がれき類 (アスファルト破片)	がれき類 (コンクリート破片)	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属 くず	混合物
	排 出 量	24.95t	2403.0t	710.3t	23.42t	8.95t	4.05t	4.0t	3.0t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>当社の産業廃棄物の排出量は、年度毎の元請工事受注量や工事内容に左右され、排出量の削減が困難なため、分別の徹底や排出された産業廃棄物のうち再生可能なものは、100%再利用を実施している。</p> <p>また、建築外構工事において施主と協議し、既設物の再利用等によって廃棄物の発生抑制に努めた。</p>								
② 計 画	【目標】 前年度に引き続き再生可能品目については、再利用100%を実施する。								
	産業廃棄物の種類	汚 泥	がれき類 (アスファルト破片)	がれき類 (コンクリート破片)	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属 くず	混合物
	排 出 量	22.5t	2160.0t	635.0t	21.0t	8.0t	3.5t	3.5t	2.5t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>必ずしも産業廃棄物の削減が実現できる業界ではないため、排出された産業廃棄物の分別の徹底や、再生可能品目については、100%再利用を実施する。</p> <p>尚、排出量の平成24年度計画値は平成23年度と同等の工事量、工事内容であると仮定して定めている。</p>								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状		【前年度(平成23年度)実績】							
産業廃棄物の種類	汚 泥	がれき類 (アスファルト殻)	がれき類 (コンクリート殻)	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属 くず	混合物	
全処理委託量	24.95t	2401.0t	707.3t	23.42t	8.95t	4.05t	4.0t	3.0t	
優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
再生利用業者 への処理委託量	24.95t	2401.0t	707.3t	23.42t	8.95t	4.5t	4.0t	3.0t	
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
平成23年度は優良認定処理業者制度変更に伴い、当社安全衛生環境協力会の優良認定処理業者を中心に産業廃棄物の処理委託を行った。									
② 計画		【目標】 処理委託の際は優良認定処理業者の有無も考慮して選定する。							
産業廃棄物の種類	汚 泥	がれき類 (アスファルト殻)	がれき類 (コンクリート殻)	木くず	廃プラスチック類	紙くず	金属 くず	混合物	
全処理委託量	22.5t	2160.0t	635.0t	21.0t	8.0t	3.5t	3.5t	2.5t	
優良認定処理業者 への処理委託量	10.0t	1080.0t	335.0t	11.0t	4.0t	2.0t	2.0t	1.5t	
再生利用業者 への処理委託量	12.5t	1080.0t	300.0t	10.0t	4.0t	1.5t	1.5t	1.0t	
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)									
処理委託先の選定については優良認定処理業者、当社安全衛生環境協力会の優良認定処理業者を中心に産業廃棄物の処理委託を行う。									